

農園便り 7

月号 (101号)

文責 筒口 典康

(2021/07/01)



6/19 歩道の下に上水が流れている。青梅街道水道端へ。 同日、北側 自転車道と歩道。

青梅街道から千川道路に入りますと暗渠になった千川緑道があります。以前の面影はほとんど無くなりまして、自転車用の専用道まで施された素敵な千川緑道になった。北に曲がると西部新宿線の上石神井駅に向かう。

川添いの住宅は無くなってレンガで舗装。武蔵野の面影のある林もなくなってしまいました。元の林には、シュンラン、スマレ、ユキゲシ、二ホンタンポポ、イヌノフグリ、山吹……などが生えていて、風情があった。暗渠以前の川には、ハヤなども見かけることができました。

この新しい道の植え込みの中にススキが侵入しまして、大繁殖。関町3丁目の区民農園に行く途中にありますので、選定鋏で刈り取ります。5分もあれば、バケツの直径程の束が簡単に採集できますからいただいて、菜園のマルチにしています。



6/19 植え込みに侵入する茅

剪定鋏で刈る

ビニールマルチは使わない。ダイオキシンの出る原因になりますから…。

ビニール類はなるだけ使いたくない。トウモロコシ、サトウキビ、ムギ、キビなどを植えるときましてマルチに使ったこともあります。

マメ科のハギ=萩を使った時にはミミズの好物らしく、大繁殖。 糞の粒で畝の土がサラサラの団粒になり、盛り上がる。

ミミズの糞には放線菌の宝庫と言われておりますから土壌病害(白絹、紋羽、菌核、根瘤、フザリウム系病害)に有効であろうと思われます。 無農薬栽培の味方。

刈草でマルチをしますと追肥がやりやすい。 株元は茎が露出するようにしておきます。 株根から 30 c m位離して、周囲に点状に敷き藁の上に置きます。 ㄉㄉㄉㄉㄉなのであります。 状態によっては、敷き藁を一度どかして与えることもあります。 楽な作業であります。



6/19 右の図 茅で刈草マルチをする

ナス列の南土手に積む ナス元気

刈草マルチの上にタンジーマジイ、各種のミント等を細かに刻んで撒く(置く)事もあります。 蟻除け⇒アブラムシ除けであります。 いらなくなったセロリなども刻んで撒きます。 選定鋏で刻みます。 かなり有効であります。 やがて腐熟してゆき養分になっていく。 全く捨てるものではありませんヨ…。



5/18 サナでマルチ 水を貯めたコンテナ

6/19 中央作業路に置いたコンテナ

大きめのコンテナに水をはりまして、その中に小型の鉢を入れる。 小鉢の中に田沼土と赤玉の大粒を入れます。 食用ミニ蓮根、クワイ、セリ、クレソン、空心菜、姫カワホネ、イネ、マツバモ …。 小鉢とコンテナの間にメダカを放つ。 オタマジャクシも入れる。 蓮根の肥料は大煮干し(魚粉)。

コンテナの水面が光る。 近くの公園の池からトンボが産卵に来るであろう。 色々な動物達の水飲み場。 ハナアブ、ハチ、ハエ等の訪問を期待しています。 彼らは、ナス、キュウリ、トマトらの自然受粉をしてくれます。 人工授粉は面倒である。 楽楽を極める。 虫の良い話ではある。 そこで、コンテナを菜園に置いている。

メダカは、蚊の発生を防ぐ有効手段であります。 小型のアリマキが水面に落ちると、飛びつくように捕植する。 食欲旺盛なサカナ。 用心深い魚なので人が近づくとすぐに隠れてしまう。 全くいないかのように静まる。 なかなか採(盗)れません。 イタズラ爺さんもかなわない

農園返却時のコンテナの片付けは、先に小鉢の始末で、後は水を抜くだけです。 小鉢を入れとくことが、ミソ。 「楽楽」です。 水道水を使いたくない時には(醗酵肥料)このコンテナの水を使います。

コンテナの水面には、嫌われものの浮き草、アオミドロが大発生。 小網で漉くって野菜たちの根際に置く。 結構な量の有機物が取れます。 置いています。 アオミドロはすごい。 マツバモも生長が早い。

現在ミジンコを探しておりますが、手に入らない。 無農薬の時代、稲藁を溜水に浸しておけば発生していたそうであるが、今は居ない。 防火用水の中に大量に居るのを何度となく見ている。 どうにかして手に入れたい。 マジ。 ゴキブリホイホイで、「シュ！」ですから、居なくなって当然でしょう。



6/19 元気・元気のキュウリ棚 葉が銀色に輝く アピオス トマト ヤマノイモも元気

キュウリの勢いが大変宜しい。 先週からは4本植えて毎日2本以上の収穫があります。 中には2果も同時についていまして、根の状態が良いように思われます。 醗酵し尿堆肥(グリーンランド)+骨粉(or カニ殻)の追肥をしました。 ススキの刈草マルチの上に置く。 根穴の上は刈草もどけておきます。 追肥の位置は根から離して置きます。 今日(6/19)は、雨。 7月号の原稿づくり。

ナス、今年は接ぎ木の長ナス1本、普通の形状のナス2本。 木を作るために小さい実を採っています。 西山(ナス名人)に学んで、水を多量に与える。

彼は、ビニールマルチであるが、私はススキの刈草でマルチ。キュウリの隣に列植。まだ茎が細い。花の色は濃い目で、元気。雌しべが突き出ている。(6/20)



6/19 トマト列 中玉極甘種

6/21 パパイヤ 水切れを嫌う

トマト 今年も、「ステーキハウス」なる大玉トマトを3本植えました。まだ園芸店に出ていない品種で、サカタ、タキイのカタログにも無い。果実を3〜4にして作りますと、1年生ぐらいの子供の両手に持つほどのでっかい実が出来るのであります。パンにサンドして、焼肉・レタスでOK！美味しくいただけます。味は、甘酸相和していて昔のトマト味。でもエグ味は全く無い。美味しいトマトであります。トマト列は、去年の土を取り除いて植えたのですが、3本のうち1本にモザイク病が出てしまいました。地上部を、刈り取って、両隣のトマトに触れないように根部も片付けました。(6/21)

連作の弊害が出たのでありましょう。畑全体が密植気味なのでちょどいい。(負け惜しみ)

中玉トマトは、志繫(シヰ)さんにいただいた中玉極甘トマトです。トマト列の両端に植えました。順調な生育で7段目の花も咲いています。(6/22) 一段目の実には、色がつき始めています。志繫さんに感謝。彼女が種から育てた苗でございます。雨除けにヤマイモが這い登り、日照不足。今後は心配。

パパイヤ 通販花倶楽部のカタログに載っておりました。熱帯植物ですから越冬が大変でした。2本のうち1本は水切れでダウン。実も付いていないのに甘い果実の臭い。腐敗してしまいました。水切れに弱いのでしょうか。

オザキフラワーセンターで2本買ったしまして、トマト列の隙間に植えています。甘い果実は無理でしょうが、冬瓜のようにして食べられるようで、作り始めました。病虫害には強いようです。今のところ元気である。

今朝(6/21)キュウリ、モロッコインゲンを収穫して帰る。千川上水北の畑で仕事中の尾崎さんにお会いする。切り取ったトマトのウイールス株をご覧になって、『厄介な病気だな』『発生すると防ぎようないですよ』と。さすが一目見て、指摘する。ご心配いただく。これは、区の焼却処理に任せましょう。